

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「ダイエー、食に絞った実験店舗をオープン」
- 2) 「セブン、1万7000店でドーナツ導入へ」
- 3) 「ピーチ、低カロリー機内食 売上金の一部は寄付」

---

1) 「ダイエー、食に絞った実験店舗をオープン」

来年1月にイオンの完全子会社となり、「食」に絞ったスーパーへ転換を目指すダイエーの実験店が29日、千葉県市川市にオープンした。

新業態「フード・スタイル・ストア」の実験店で、衣料品の売り場が広がった総合スーパー「ダイエーいちかわコルトンプラザ店」を改装した。

売り場面積は約1万4000平方メートル。衣料品の売り場面積を約4割減らし、食品関係のスペースを1割ほど増やして約3600平方メートルにした。総菜やワインコーナーを大幅に拡張し、カフェや料理教室のできるイベントスペースも充実させた。ダイエーは、来春にも関西、関東で1店舗ずつ新業態の店を開く方針だ。

来年からイオンになるということで新たなイメージが打ち出された。1000坪の食品売場とあれば商品も充実していると思うので、どのような売場になっているのか興味がある。消費者にとって「新業態」というのはそれほど重要ではないと思うが、一時代を築いたダイエーが今後イオンとしてどのような方向に進んでいくのか注目したい。

2) 「セブン、1万7000店でドーナツ導入へ」

セブン-イレブン・ジャパンは27日、レジ横に設置した専用ケースに並べる形のドーナツを全国で発売すると発表した。来年8月までに全国の約1万7000店に導入する。

業績を牽引するいわたてコーヒー「セブンカフェ」と一緒に購入してもらう狙いで、2016年度には6億個、600億円の販売を目指す。ミスタードーナツなど既存専門店の脅威にもなりそうだ。

「セブンカフェ ドーナツ」の名で販売。当初は「チョコオールドファッション」（100円）など、100-110円の6種類を用意する。

全国に24カ所あるセブン専用のパン工場で1日2回製造し、3時間以内に近くの店へ配送し、「フレッシュで高品質な商品を届ける」としている。

ドーナツは中の温度を27度以下に保てる専用ケース内に並べ、客の目につきやすいカウンターのレジ脇に置く。先行販売ではセブンカフェと一緒に購入する人が多く、専用ケースはセブンカフェの機械と並べて置く。

セブンによると、外食のドーナツ市場の規模は約1300億円。このうちミスタードーナツの13年度の売上高は1030億円で、圧倒的シェアを占める。ただ、ミスタードーナツの国内店舗数は今年3月末現在で1350店にすぎず、1万7000店のセブンが本格展開すれば、戦略の見直しを迫られる可能性もある。

発売と同時に試しに買って見たが“慣れ親しんだ味”と言う感想だった。比較するとやはり種類はでは叶わないものの、店舗数がコンビニほど多くないミスタードーナツより身近で、他の物とまとめて気軽に購入できるという点ではメリットは大きいと思う。この動きで両社の競争が起こり、また他社の参入も考えられる。市場が活性化することで新たな物も生まれると思うのでこれからを楽しみにしたい。

---

### 3) 「ピーチ、低カロリー機内食 売上金の一部は寄付」

格安航空会社（LCC）のピーチ・アビエーションは低カロリーの機内食を12月から提供し、売上げの一部を途上国支援の寄付金にする。ピーチの旅客は他社に比べて女性が多く、健康志向にも対応する。同社によると、機内食を通じてこうした形の寄付をするのは国内で初めてという。

NPO法人のテーブル・フォー・ツー・インターナショナル（TFT、東京・港）の「カロリーオフセット」と呼ばれる、抑えたカロリー分を金額に換算して寄付する仕組みを使う。機内食のメニューとして「トラウトサーモンのバジルクリームソース」「十六穀米とキーマカレー」「ヘルシーそばサラダのよりどり弁当」の3種類を用意した。価格は800-850円で、1食につき数十円が寄付される。

いずれも500キロカロリー以下で、これまでの機内食に比べカロリーを抑えた。そばサラダの弁当はほぼすべての国内、国際線で販売するが、温める必要があるキーマカレーなどは長距離の国内線となる関空から新千歳、沖縄、石垣の路線と、関空発着の国際線で提供する。寄付金はTFTを通じ、台風被害のあったフィリピンのレイテ島の農業支援に充てられるという。

テーブル・フォー・ツーは少しずつ取り入れる企業も増えてきており、都度話題に上がるがなかなかその後の様子というものを聞かないし、まだ珍しいものという印象がある。ピーチは世界をまたぐ航空会社だからこそという点で結びつくレイメーリアップにもつながると思う。食品を扱うスーパーでもこうした取り組みをもっと取り入れられないかと思う。消費者に近いところで取り組みを行うことで認知度も高まれば、話題性だけのものに終わらないのではないか。